



子ども達に育てたい力  
―園行事を通して―

桂川町立幼稚園 園長 城石俊弘

夏休みを経て、一回り大きくなった子どもたちは、元気いっぱい運動会の練習に取り組んでいます。2学期は運動会、生活発表会等の大きな園行事があり、日常の教育活動に加え、このような園行事は子どもたちを伸ばす大きな機会だと捉えています。

現在の幼稚園教育要領は、次の10項目について、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を掲げ、教師が指導を行う際に考慮することとしています。

- 健康な心と体 ○道徳性・規範意識の芽生え ○思考力の芽生え ○数量・図形・文字等への関心 ○言葉による伝え合い
- 自立心 ○協同性 ○社会生活との関わり ○自然との関わり・生命尊重 ○豊かな感性と表現

現在、本番を前に毎日練習に取り組んでいる運動会では、特に次の4

つの内容を重視しながら指導を重ねています。

○【健康な心と体】…充実感や満足感を持って心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出していく。

○【自立心】…自分でしなければならぬことを自覚して諦めずにやり遂げることで、満足感や達成感を自信を持って行動する。

○【協同性】…友だちと共に工夫したり協力したりする充実感を味わいながらやり遂げる。

○【道徳性・規範意識】…してよいことや悪いこと、決まりを守る必要性がわかる。

3クラスそれぞれの発達段階や個々の園児の実態に応じて、育てたい力を明確にし、指導の充実を図っています。

運動会は、10月12日(土)9時30分、桂川幼稚園運動場(雨天順延)で、生活発表会は、12月7日(土)桂川住民センターで行い、保護者や地域の皆様に公開いたします。多くの皆様にご参観いただき、さらに子どもたちの意欲や興味・関心を高めたいと考えています。

令和元年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況(その1)

桂川町教育委員会

四月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果の概略を報告します。

本年度は、調査教科の変更があり、小学校6年生は国語・算数の二教科、中学校3年生は国語・数学・英語の三教科で実施されました。また、これまで国語・算数(数学)は、それぞれ、A基礎問題・B活用問題に分けて、調査があつていましたが、本年度から一体的に調査が行われ、記述式の問題も一定割合で導入されました。

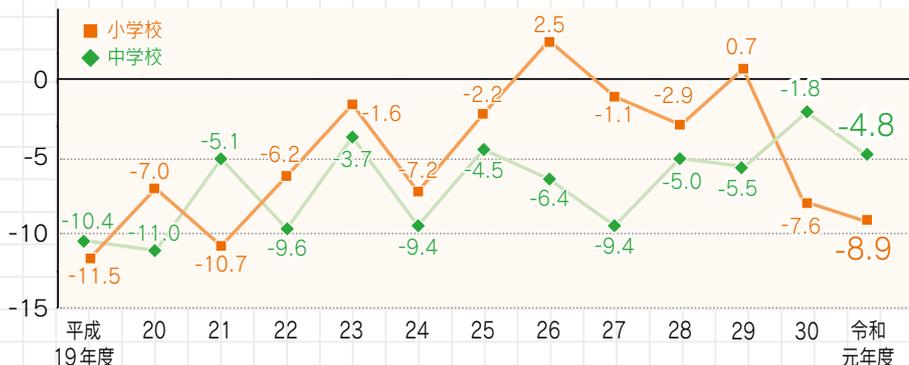
このような調査教科や調査方法の変更もあり、小・中学校ともに、本年度は、どの教科も、全国及び福岡県の平均正答率に至らず、昨年度と比べると少し差が広がりました。

また、調査が始まった平成19年度からの推移のグラフ(平均正答率の県平均との差)をみますと、年度によって上がり下がりがありますが、ここ数年は停滞傾向となっています。各学校では、学力を伸ばすために、さ

まざまな教育実践に取り組んでいます。子ども達に学習習慣を身に付けさせるためには、家庭の協力が是非とも必要になっていきます。「家庭教育の手引き」や「家庭学習のすすめ」などを活用し、子ども達への支援を宜しくお願いします。桂川町としても「学力向上」の改善を進めていきたいと考えています。

【学力・学習状況調査の推移】

(小学校6年生・中学校3年生の正答率 桂川町と県平均の比較)



(出典「全国学力・学習状況調査」)